

令和5年度第1回滝川警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和5年6月14日(水) 午後3時00分から午後4時30分まで

2 開催場所

滝川警察署3階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員(定員8名)

会 長 川原正敬

副会長 水谷壽子

委 員 鈴木親則、中野和美、大滝裕慈、林桂子、岩船浩之、三原新

(2) 滝川警察署(14名)

署 長 清水規之

副署長 澁谷直之、分庁舎所長 五十嵐正樹、刑事生活安全官 早坂則章、

地域交通官 前田勝也、警務課長 佐々木修一郎、会計課長 斉藤伸輔、

生活安全課長 菊地太一、地域課長 片岡正治、刑事第一課長 加納真也、

刑事第二課長 小嶋龍彦、交通課長 畑中洋介、警備課長 波多野祐也、

警務係長(庶務担当)

4 会議内容

(1) 委嘱状交付

(2) 役員選定

(3) 会長挨拶

(4) 署長挨拶

(5) 自己紹介

(6) 懲戒処分の説明

(7) 協議事項

ア 令和5年度第二回警察官採用試験に向けた取組状況

イ 特殊詐欺の状況について

ウ 交通事故発生状況について

5 質疑応答等

○ 令和5年度警察官採用試験について

【委 員】 警察官はやりがいや魅力に溢れた職業だと感じていますが、採用試験受験人数が年々減少傾向にあると聞きました。具体的な採用募集活動について伺います。

【警 察】 メディアを通じて募集広報したり、管内の大学や高等学校には直接赴いて募集しています。また警察署の職員が知人や友人に募集活動を展開しております。

【委 員】 子供達に将来の夢について聞くと「警察官」と答える子供はかなり多いですし他にはない職業的魅力が警察官にはあると思います。

その魅力を伝える情報発信や広報活動を進めていただきたいと思います。

○ 特殊詐欺の状況について

【委 員】 滝川警察署管内の特殊詐欺情勢については、警察署の積極的な活動により認知件数は減少傾向にある印象を受けます。

ただ、未遂も含めた事案の発生は見受けられるので、犯人側がこういった手口や手法で騙そうとしているのか、「このキーワードが出たら詐欺」など被害に遭わない、遭いにくいアプローチを警察で考えていただきたいと思います。

【警 察】 道警察では「詐欺電話がきたら#9110」というフレーズを推進しております。詐欺かどうか判断を迷うようなものについてもこのダイヤルで随時受け付けています。

さらに、犯行の手口が一層巧妙化しておりますので、広報は重要な課題だと感

じておりますので、エフエムなかそらち様などと協働してこれまで以上に早い情報発信を推進していきたいと考えております。

○ 交通事故発生状況について

【委員】 道路交通法改正に伴い、自転車に乗る方のヘルメット着用が努力義務化されましたが、着用率向上の進捗状況について伺います。

【警察】 各種警察活動や交通安全運動などで街頭啓発を実施しておりますが、着用率は低い水準にあると見受けられます。

道警察では、指定した小学校を自転車ヘルメット着用のモデルケースとして推進するなどの施策を推進しておりますが、今後も行政機関や教育機関との連携を強化して、重大事故防止のため着用率の向上を図っていきたいと考えております。

○ その他（地震など災害時の対策について）

【委員】 北海道胆振東部地震に伴う停電により住民生活に深刻な影響が生じましたが、警察署での対策について伺います。

【警察】 災害の種類によってケースバイケースになりますが、平素からの訓練が肝要であると考えております。

具体的な対策として警察署内での災害警備本部の設置訓練を実施しておりますし、関係機関と連携した災害警備訓練も今後、機会があれば実施したいと考えております。

7 次回開催予定等

令和5年8月を予定。

以上

議長

㊟

委員

㊟